



子ども大学よこはま
THE CHILDREN'S UNIVERSITY OF YOKOHAMA

2015年度 修了式と特別公開講演会の報告

日時 2016年3月5日(土) 修了式: 14:00~14:30 / 講演会: 14:45~16:15 / 場所 横浜市技能文化会館

2015年度子ども大学よこはま

修了おめでとう!



3月5日、2015年度「子ども大学よこはま」の修了式と特別公開講演会が、横浜市技能文化会館で行われました。修了式に参加した“学生”は、全部で28名です。講演会には学生26名、一般の小学生15名、その他保護者や大人の参加がありました。

2015年度子ども大学よこはま 修了式と特別公開講演会

【第1部】修了式 式次第

- 一 開会のことば
- 二 「子ども大学よこはま」からのごあいさつ
- 三 卒業証書授与 6年生7名が卒業しました。
- 四 皆勤賞表彰 21名の学生が全5回の授業に出席しました。
- 五 閉会のことば

【第2部】特別公開講演会

かこく ぼうえんきょう
「世界一過酷な環境下での望遠鏡建設、エンジニアからみたアルマ望遠鏡！」

わかせい
—ほかの惑星のようなアタカマ砂漠、美しい満天の星空、その大地での望遠鏡建設！—

講師：宮川 広（みやがわひろし）先生（元国立天文台専門研究職員/認定NPO法人子ども・宇宙・未来の会会員）

卒業おめでとう、6年生。修了おめでとう、5年生、4年生。
 がんばったね、皆勤賞のみなさん。



いろんな話、聞いたことがない話が聞けた。*知らないことを教えてもらった。*全部の授業に参加できてよかった。*この経験を活かして頑張っていきたい。*薬の授業でラムネをつぶすところが面白かった。*前から興味があることを深く知ることができたり、知らないことがわかってよかった。*わからないことがあったけど、いちばん心に残っているのは薬のこと。*わからないことがたくさんあって、知らないことがわかった。*興味があることが出てきて面白かった。*来年も来るのが楽しみ。*いろいろびっくりすることが出てきて、わかりやすい授業でよかった。*自分の考えだけでなく、ほかの人の意見も聞いてよかった。

皆勤賞のみなさんに、ひと言ずつ、1年間の感想を聞きました。

また1年間の感想を募集したところ、10名の学生が書いてくれて、感想文は文集にまとめました。

2015度のテーマは「命(いのち)」でした。

回	タイトル・先生
1	入学式：学長 小林 登 先生（小児科医、東京大学名誉教授） 「こんなにすごい！ 子どものカラダの不思議」 榊原 洋一 先生（お茶の水女子大学大学院教授、お茶の水女子大学副学長）
2	「命を救う薬、命を削る薬 ～薬学部の見学と薬剤師体験」 木津 純子 先生（慶應義塾大学薬学部教授）
3	「自分も相手もたいせつにするかわりに必要なこと～院内学級の子もたちが教えてくれた大切なこと～」 副島 賢和 先生（昭和大学病院院内学級さいから学級教諭、昭和大学准教授）
4	「宇宙人は本当にいるの？ ～地球外生命体の探し方～」 平林 久 先生（JAXA 名誉教授、KU-MA 会長）
5	「みんなの知らない動物園」 櫻堂 由希子さんほか野毛山動物園飼育職員の皆さん

特別公開講演会

「世界一過酷な環境下での望遠鏡建設、エンジニアからみたアルマ望遠鏡！」

—ほかの惑星のようなアタカマ砂漠、美しい満天の星空、その大地での望遠鏡建設！—

講師：宮川 広（みやがわ ひろし）先生

（元国立天文台専門研究職員/認定 NPO 法人子ども・宇宙・未来の会会員）

なぜ
富士山より高い千りの砂漠に、
どうやって
電波望遠鏡を建てたの？

30年も雨が降らないところ。
酸素ポンペを背負って作業。
怖くなるほど星でいっぱい空……。
「アルマ望遠鏡」を建設に、エンジニア（技術者）
として参加した宮川先生が、たくさんの写真や映像
を紹介しながらお話くださいました。



<見てみよう> アルマ望遠鏡と電波天文学について

- ・国立天文台 HP「アルマ望遠鏡」<http://alma.mtk.nao.ac.jp/j/>
- ・国立天文台 HP「まんが アルマの冒険」<http://www.nao.ac.jp/naoj-news/almar/>

授業後のアンケートから

26名の子どもたちがアンケートに答えてくれました。過酷なアタカマ砂漠や ALMA 望遠鏡、宇宙に関する回答が多く、今回の講座でも新たな興味を引いてもらえたと考えられます。

1. いちばん、心に残ったことや、ことばは何ですか？

- ・世界一過酷な場所（環境）のアタカマ砂漠、その苛酷な場所に望遠鏡を設置したこと（6）
- ・死の道のこと（3）・ALMA 望遠鏡について（2）・南半球と北半球の関係のこと（2）
- ・星のこと・何億年も前の光を見ているということ・宇宙人のミイラのこと・外国通信のこと
- ・ALMA が太陽系惑星を発見したこと・バーコードで読み取ること
- ・ALMA 望遠鏡の鏡面精度が髪の毛よりも細くしていること・宇宙のこと

2. 授業を受けて「もっと知りたい」「もっと聞いてみたい」「自分で調べてみたい」と思ったことはありますか？

- ・宇宙について（7）・ALMA 望遠鏡およびその歴史について（3）
- ・チリおよびアタカマ砂漠の環境のこと（3）
- ・宇宙人との交信について・月の裏側に建設すること・スバル望遠鏡について
- ・光の速さについて・誤差があったらどうなるか・全国に通信できるか

3. 授業を受けて「思ったこと」、「感じたこと」を自由に書いてください。

- ・宇宙の広さに感動した（2）・長くて、おもしろかった
- ・アタカマ砂漠のことについては知らなかったなので、よかった
- ・アタカマ高地まで行って捜索を続けることはすごいと思った・命・生命の大切さが分かった
- ・ALMA 望遠鏡がどうやってできたかが分かった・電波望遠鏡の性能にとってもおどろいた
- ・地球から宇宙は見える範囲があって、とてもひろいということを改めて感じた
- ・体力が必要だから少しキツイと思った・海の近くに砂漠があるんだなと思った
- ・リニアモーターで動いているのにビックリした・分からないことがあったが、分かりやすかった
- ・1ミリのずれもない ALMA のシステムにおどろいた・インカ帝国に行ってみみたい
- ・ALMA 望遠鏡を生で見たい

子ども大学よこはまの缶バッジを作りました。



子ども大学よこはまでは、修了式に合わせて、ロゴをデザインした缶バッジを作って学生に贈りました。

これは「子ども大学よこはま」のシンボルです。覚えてね！



皆勤賞の皆さんには、キーホルダーを記念に贈りました。

いずれも、会員でデザイナーの入澤（いりさわ）さんがデザインしたものです。

● 子ども大学のロゴのお話

もともとはYOKOHAMA ラグビー場に残されたボールが卵になり、姿を変えながら、今の帆船YOKO-MARU（愛称）になりました。

港よこはまのシンボル“日本丸”に憧れて帆船の姿になりました。でも、普通の帆船ではないのです。

すごいです！ 歩いたり、空を飛んだり出来ます。宇宙にも行けます。海の中にも入れます。潜水です。

しかし、苦手なこともあります。海の上を進む時は足を使います。まいったなあ～

（固定観念にとらわれずに自由な発想で考えて欲しいという思いが込められています。まだまだストーリーはあります・・・みんなで考えてください。）iri

1年間、ご支援、ご協力ありがとうございました。

NPO法人を設立し、「子ども大学よこはま」を開校して1年。あっと間に過ぎてしまいました。学生が集まってくれるかどうか不安な思いでスタートし、子どもたちが真剣に学ぶ姿に励まされながら、全5回の授業を無事終えることができました。これもひとえに毎回送迎くださった保護者の皆様や授業を行ってくださった先生方、設立に尽力くださった姉妹校の「かわごえ」「かまくら」の皆さん、設立発起人として相談にのってくださった大学の先生や専門家や地域の皆さん、アドバイザーの先生方、ボランティアでカメラマンや運営をお手伝いして下さった方々、それから賛助会員のおかげです。どうか来年度も引き続き、ご支援、ご教示賜りたくお願い申し上げます。（スタッフ一同）



子ども大学よこはま
THE CHILDREN'S UNIVERSITY OF YOKOHAMA

特定非営利活動法人子ども大学よこはま 〒226-0027 横浜市緑区長津田 1-22-2-38
電話 090-3903-6875 EMAIL inform@kodomodaigaku-yokohama.com
<http://www.kodomodaigaku-yokohama.com/>
<https://www.facebook.com/kodomodaigakuyokohama>